

鳩だより 《敬称略》  
祝 洗 礼

10月28日(金)  
マルタ 西條 峯子  
徳島インマヌエル教会

祝 堅 信  
10月23日(日)  
グレース 野間 恵  
ペテロ 野間 嗣恵  
姫路顕栄教会

ご 逝 去  
8月27日(土)  
アグネス 中生 洋子  
神戸聖ヨハネ教会

山陰伝道区  
山陰伝道区修養会



10月15日(土)・16日(日)にかけて、山陰伝道区修養会が鳥取聖ルカ教会を会場に行われました。講師に神戸教区

日本聖公会 神戸教区報  
**神のおとずれ**

2016年12月号 クリスマス号  
発行所 神戸教区事務所  
TEL 078(351)5469  
FAX 078(382)1095  
http://www.nskk.org/kobe/  
発行責任者 司祭 芳我秀一  
印刷所 文明堂印刷所

愛を乞う人・与える人

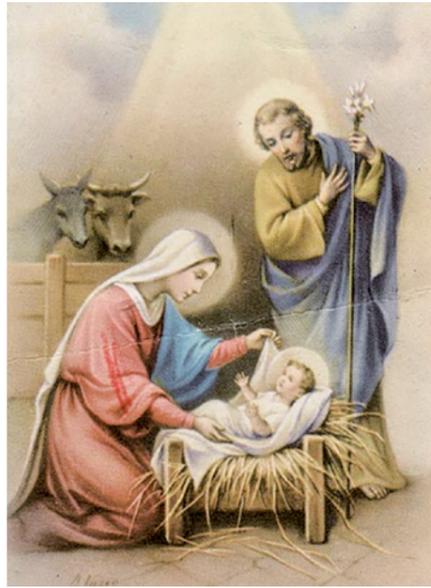
主教 アンデレ 中村 豊

土砂降りの雨のなか、父親の手を引かれた小さな女の子がとぼとぼと歩いており、その子の母親が二人の後を追いつつながら泣き叫んでいます。映画「愛を乞う人」の冒頭シーンです。

虐待には理由がある??

しかし、頼みの綱の父親は結核で死んでしまい、養護施設に預けられたこの子を母親が引き取ったのは良いのですが、母親はこの子が憎くてたまたま、暴力の限りを尽くすのです。この子の父親を心の底から愛していたにも拘わらず、自分を棄てて逃げて行ったことを恨み、二人の間に生まれた子どもに、裏切られた

憎しみの矛先を向けたというわけですが、娘はようやく中学を卒業して就職します。ところが、給料は全部母親が奪ってしまふという横暴な振る舞いに我慢できず家を飛び出し、初めて普通の人生を獲得することができたのでした。結婚して娘が生まれ、中年になったある日、母親が漁村で理髪店を営んでいることが判明し、娘とその村に出かけました。店に入ったのはいいのですが、身分を明かす勇気もなくカットを依頼します。前髪をかき上げ



私は変わりません

新聞の地方版を見ますと、生まれた子どもと母親の写真と共に、「この子が授けられ

たとき、自分がつけた傷跡に気づいた様子なのですが、母親は何事もなかったようにカットを続けるのです。整髪を終わり、娘は「いつまでもお元気で」という言葉を残して店を去りますが、去って行く娘と孫をじっと母親は見つめています。

「与える人として立つ」  
貧しい姿でお生まれになった神の子イエスの誕生をお祝いしたのは、赤の他人の羊飼いと占星術の学者でした。幼子と出会い、100%他人に依存しなければ生きていけない現実を目の当たりして、自分の持てるものを最大限に用いて、幼な子とその両親にプレゼントをしました。生まれた時の記憶はありませんが、私たちがイエスと同じ状況のなかで生まれ、家族などの庇護によって今日の私たちの今があるということをクリスマス物語は私たちに教えておられます。大人となった私たちは、他人の御用のために必要とされておられ、そのために私たちが差し出すとき、他者と共にある喜びと神の祝福が与えられるのです。  
(神戸教区主教、松蔭女子学院院长)

参加者は、20名位だが、近隣の住民、他教派の信徒の参加もあり、充実した秋の神からの恵みの実りをいただいた。

クリスマスの楽しみ方

クリスマス・プレゼント  
クリスマスといえば「クリスマス・プレゼント」を思い浮かべることが多いと思います。クリスマス・ツリーの下や枕元に欲しかったプレゼントが置かれている。あるいは、愛する人から感謝の想いをこめてクリスマスにプレゼントが贈られる。どの様なかたちであって、プレゼントをもらうことはとても嬉しいことですし、ワクワクする

サンタクロースのモデル

クリスマス・プレゼントを贈ってくださる有名なサンタクロースですが、このサンタクロースのモデルとなった人物がトルコの「ミラのニコラス」という人物です。ある日、ニコラスは貧しさのために奴隷として売られる姉妹と出会う。何とかして姉妹を助けたいと思ったニコラスは12月6日に、姉妹の家にいき、窓から銀貨を投げ入れました。これがクリスマス・プレゼント、そしてサンタクロースのモデルとなった出来事と言われています。そして、このニコラスのお話が時を経てアメリカに渡り、サンタクロースとなり、人々は子どもたちにプレゼントを贈るようになりました。

もつれる・おくる喜び

「プレゼント」で最も大切なことは「買える嬉しさ」だけではなく、プレゼントを贈る方も「贈る嬉しさ」の2つが揃って初めてプレゼントとなります。つまり、プレゼントの中に愛する人のため、友達のため、普段、お世話になっている人のため、様々な人のために「何かしてあげた

どうぞ、教会のクリスマスへお越しください。

「い」という想いと「プレゼントしてくれてありがとう」という想いが重なったとき、私たちは「愛」という最高のプレゼントを感じる事が出来るのです。  
もし、クリスマスを「クルシミアス」や「クリボッチ」と寂しいイベントだと思つたとき、教会へ足を運んでみて下さい。そこには、あなたが来てくれたことを喜んでくださる方が多くいます。それは、あなたの寂しさを神様が知っているからです。あなたへのプレゼントの準備はもうできています。  
(執事 浪花朋久)

クリスマス特別企画  
クリスマス・スイーツ

日本においてキリスト教のお祭り、一番認知されているのはクリスマスでしょう。最近、インターネットや色々な国の方々の交流から、今まで知らなかった海外のクリスマス習慣なども紹介されています。そこで、今回はあまり知られていないクリスマスお菓子をいくつかご紹介しましょう。



パネトーネ(イタリア)

仔牛の小腸から採取される特殊なイースト(パネトーネ酵母)を使い発酵させるお菓子です。ゆっくり発酵させたプリオッシュ生地(パン生地)の中に、レーズン、プラム、

オレンジピールやその他のドライフルーツを刻んだものを混ぜ込んで焼き上げます。シユトーレン同様、降臨節(クリスマス前の4週間)に各家庭で焼かれ親族や友人に配る習慣がありました。なお、同様のお菓子として、パンドーロやウィーン菓子のクグロフなどもクリスマスケーキとして作られています。

私たちは、聖餐式でキリストの体であるパンを通して、神様の恵みを頂きます。また、小麦、その加工品であるパンを主食とするヨーロッパの人々にとって、パンは神様からの豊かな恵みを表しています。パン生地を使ったクリスマスケーキも、イエス様の誕生を祝う気持ちとイエス様が与えられた恵みを感謝するところから、自然と生まれたのでしょう。

13のデザート(フランス)

カトリックの影響の強いフランス、特にプロヴァンス地方のクリスマス菓子、とい



うより伝統です。クリスマス料理をと共に、13のお菓子を並べ食します。この13は、イエスと12弟子を表しており、内容は、1. ポンプ・ア・ユイル、2. 黒いヌガーとアーモンド、だけが入る白いヌ

ガー、3. 胡桃もしくはヘーゼルナッツ、4. ドライイチジク、5. アーモンド、6. レーズン、7. なつめ、8. カリソン(マジパンとメロンの砂糖漬けを練り合わせて作られたプロヴァンスの銘菓)、9. マルメロのゼリー、10. ぶどう、11. オレンジもしくはみかん、12. 洋ナシ、13. りんごフガス。他に青いメロン、アーモンド、ナナカマドの実

などを用意する場合もあるようです。これらはフレッシュであったり、砂糖漬けやドライフルーツなどであったりもします。また食べ方に流儀があり、少量でも必ず全種類を食するのが基本だそうです。ただし最近の家庭では、用意することが少なくなってきたそうです。



ガレットデロワ(フランス)

ご存じのように、聖書にはイエス様の降誕に関して日付の記載がありません。そこで、キリスト教が発展していった過程で、色々なお祝い日が定められていきました。小アジア(現代のトルコ)などの地

域では、だいたい二世紀頃から1月6日にイエスの誕生から東方の三人の占星術師の来訪、イエスの子供時代のすべの出来事、ヨルダン川で洗礼者ヨハネから洗礼を受けるまでの出来事を祝う祭りを 행っていたようです。これは現在の顕現日(顕現節の前半)として残されています。この顕現日にだされるお菓子として有名なのは、ガレットデロワ(王様ケーキ)です。パイ生地アーモンドクリームを詰めて焼いたものが基本になります。その際にクリームの中にフェーズ(空豆)と呼ばれる物(昔は空豆、今は小さな陶器などの人形)を入れておきます。ケーキを切り分ける際、フェーズが当たった者が、王様になり王冠をかぶってその日一日みんなから祝福されます。フランスではこれを食べないと一年がはじまらないとまで言われます。これも南部になると、リング状でオレンジ水で香りづけられたプリオッシュ生地(パン生地)にドライフルーツを飾った物になります。(執事 坪井 智)

教会建築シリーズ④  
広瀬基督教会編

「植音高く」  
「開かれた集う教会」  
を指して

陰陽11ヶ国を領して繁栄した尼子氏の本拠地月山富田城は、戦国乱世の時代に毛利氏に敗れ、毛利氏の山陰における拠点となり、日本屈指の山城として有名を馳せ、山陰の鎌倉と謳われる広瀬の街にイエス・キリストの福音の種が蒔かれたのが1892年(明治25年)のことでありました。

バックストン司祭など多くの聖職者の教導に始まり、爾来130年有余の間に180人に近い信徒が誕生し、広瀬の地から全国各地へ巣立って行きました。礼拝堂は、1927年(昭和2年)、広瀬大火により焼失しましたが、同年、現在の教会堂を新築し、その後、度重なる修復を経て今日まで持ち続けましたが、老朽化に耐えられず解体に至りました。



現在の広瀬基督教会

現在、教会を保守しようとする信徒は、少数ですが、先人達が灯したこの信仰の灯かりを絶やすわけに行かず、ここにイエス・キリストの体である教会堂の新築を決断しました。

これからの広瀬基督教会のビジョンとしては、地域の人が気分よく足を踏み入れて呉れる開かれた教会、教区内外の人達が観光に合わせ訪ねていただける教会を目指します。

皆さま方をお願いする建築献金も然る事ながら自作の絵画、聖画、お譲りいただければ、絵画をご寄贈いただければ、展示したいと考えています。広瀬基督教会の新礼拝堂は、

「心が和む絵のある教会」を目指します。

神様のご加護によりみなさまのご理解とご支援を望み、去る9月15日に起工式を行い、来春の完成を目指して植音が響いております。

絵画の受け入れ先  
〒69920404  
鳥根県安来市広瀬町広瀬882番地  
吉村信方 広瀬基督教会  
TEL0854-6212903

(広瀬基督教会  
信徒代表 吉村 信)

全国青年大会  
in 北海道

9月8日(木)～11日(日)にかけて全国青年大会が北海道であり、私は初めて参加しました。テーマは「あなたとわたし今をさげぶ」でした。今大会では、北海道開拓の歴史を交えた施設見学、知里幸恵さんを題材にした舞台の鑑賞を主にしました。

私たちは、今も普通に使っている文字があります。ですが、アイヌの時代に文字はあ

りませんでした。今の私たちに必要とせざるが、文字を必要とせず、コミュニケーションはとれていたのだからかと考えました。そして、日本の歴史には、縄文時代や弥生時代と続いています。ですが、これは九州から関東にまでしか存在しなかった歴史です。この事実にはとても驚きました。



千里幸恵さんの舞台は、アイヌの一人の人の物語でした。鑑賞して、どれだけアイヌの人々が差別され、辛い思いをし、怖い思いをしながら生活をしていったのか、タイムスリップをした気分になり、

恐ろしく感じました。

高校の日本史の授業でアイヌの事を学びましたが、それは触れる程の事で、何も分かっていませんでした。今大会で、アイヌの一人の物語、アイヌの全体を知り、驚きが隠せませんでした。

全国青年大会が終わり、11日(日)～12日(月)に行われたU26にも参加してきました。U26は、18歳から26歳の日本聖公会に携わる青年を対象に、2011年に発足された管区規模の青年グループです。U26で大切にしている考えは「知る・つながる・教会の絆」です。全国の青年が集まり、他の教区の活動を報告し合う、その「つながり」を深め、教会に対する理解を深め合う。その「出会うの場」、「発展の場」としてU26の活動が広まってきています。全国青年大会U26で他教区の青年活動を知り、繋がりができたので、青年交流会で活かしたり、他教区との青年活動もしていきたいと感じました。

(垂水伝道所  
ヤコブ 長谷川 優)